

済生会長崎病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に

使用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

研究課題名	血管透析患者における心筋虚血指標 Resting Full-cycle Ratio と心血管イベントの関連を調査する観察研究
研究責任者	循環器内科部長 中田 智夫
研究の背景	<p>透析を受けている患者さんは、心臓や血管の病気で亡くなる方が多いことが知られています。特に心筋梗塞などの冠動脈疾患を発症すると、治療が難しく予後が悪いとされています。そのため、透析患者さんでは心臓の血流が不足しているかどうかを正しく調べ、治療方針を決めることがとても重要です。</p> <p>これまで「FFR」という方法が使われてきましたが、特別な薬を使う必要があり、体への負担や副作用の心配がありました。最近では、薬を使わずに調べられる新しい方法「RFR」が開発され、一般の患者さんで有用であることが分かってきています。</p> <p>しかし、透析を受けている患者さんで RFR を調べた研究はほとんどありません。そこで今回の研究では、透析患者さんにおける RFR の有用性を検討し、より安全で適切な心臓病の治療につなげることを目的としています。</p>
研究の目的	<p>本研究では、透析を受けている患者さんで測定された RFR という新しい指標が、心筋梗塞や心不全などの心血管イベントの発生と関係があるかどうかを調べます。これにより、透析患者さんの将来の心臓病リスクをより正確に評価できるかを明らかにすることを目的としています。研究は複数の医療機関が協力して行う観察研究であり、診療の中で得られたデータをもとに解析を行います。</p>
調査データ期間	本研究の実施許可日～2027年3月31日
研究方法 (使用する試料等)	対象となる患者：2018年8月1日～2025年3月31日までの間に、冠動脈病変に対してRFRを測定した血液透析患者さんが対象です。

	利用する情報 : カルテ診療録、経過 (心臓病の発症や死亡の有無) 等
予想される医学上の貢献	RFR によって心血管イベント発生リスク層別化が可能であれば、透析患者で最も不足している
主管機関	順天堂大学医学部附属練馬病院 循環器内科
共同研究機関	長崎大学病院循環器内科・佐世保総合医療センター循環器内科・泉川病院循環器内科
個人情報の取り扱い	患者さんの情報は研究用 ID で匿名化して扱い、個人が特定されることはありません。
利益相反	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業はありません。
試料、情報の他研究機関への提供	研究は複数施設で行うため、特定できない形にした情報を他の参加施設と共有します。
問い合わせ先	済生会長崎病院 電話 : 095-826-9236 担当者: 循環器内科 中田 智夫
備考	研究に同意しないことまたは同意を撤回することによって不利益な取り扱いをうけることはありません。 個人の情報としての結果を開示することは可能です。 開示を希望される場合は上記問い合わせ先までご連絡ください。